

◆ 第7章 ◆ 計画に基づく事業推進の留意点

「地域水道ビジョン」の施策を実施するにあたっては、定期的に進捗状況を確認することが必要です。特に、計画値と実績値に乖離が生じている場合には、事業の推進に障害となる問題が発生している可能性もあり、その理由を把握しておくことが重要です。また、下水道事業、都市計画事業など他の計画との関連を把握しておくことが重要です。特に、中部横断自動車道の建設が動き始めており、その計画との整合性を図る必要があります。

また、平成21年度から平成30年度までの10カ年を計画期間としています。しかし、計画の基礎となる水需要については、計画策定時点で想定される要因を考慮して予測したものであり、今後の社会情勢によって大きく変化する可能性があります。今後、簡易水道を上水道へ事業統合する予定であることから、統合時期によって事業の実施状況が変更される可能性があります。

よって、計画の進行状況を確認しながら、計画の見直しを行い、実績評価と財政的な検討を加えて、実施・財政計画を策定し、毎年度の詳細な計画を立案して、効果的で着実な進行管理に努めます。

計画見直しの際には、図28に示すPDCAサイクルにより、事業の進捗(Do)、目標達成状況の確認(Check)、改善の検討(Action)、計画の策定(Plan)を行い、これを繰り返すことで計画実施評価と改善を図り(スパイラルアップ)、佐久水道企業団の目標を達成します。

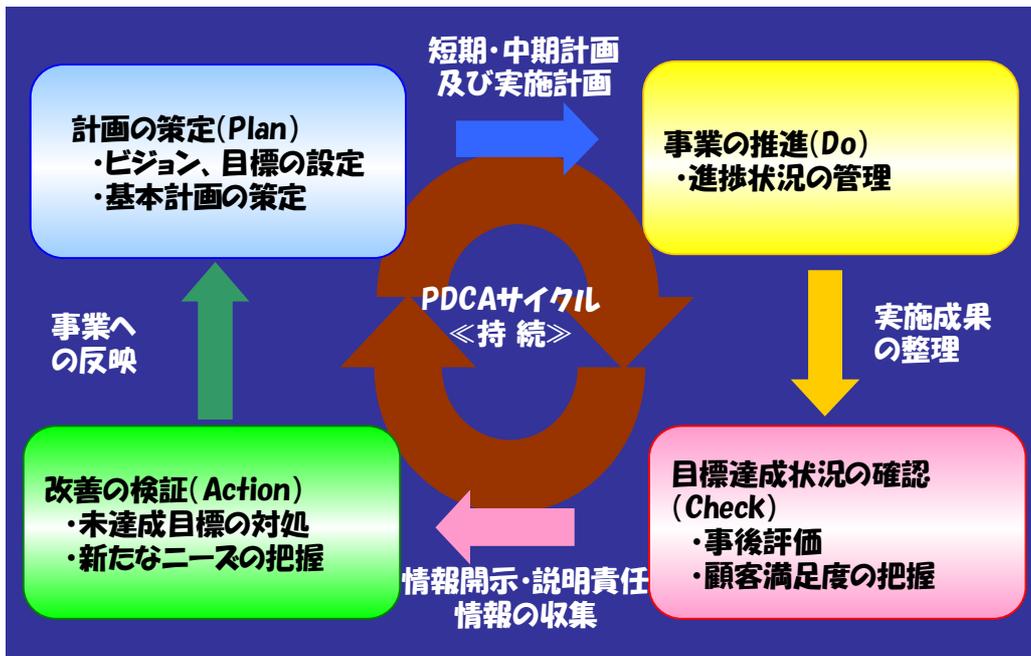


図 28. 計画実施のためのPDCAサイクル



佐久水道企業団 地域水道ビジョン

〒385-0054 佐久市跡部 101

TEL. 0267-62-1290

FAX. 0267-63-2256

info@sakusuidou.or.jp